

令和7年度第2回今治市水道事業経営審議会会議録

- 1 日 時 令和7年7月10日(木) 午後2時00分～午後3時00分
- 2 場 所 高橋浄水場 大会議室
- 3 議 題 答申(案)について
- 4 出席者
- 会長 内藤委員
副会長 浅井委員
委員 玉田委員、森田委員、織田委員、山本委員、矢野委員、渡邊委員
事務局 重松 上下水道部長、濱西 上下水道政策局長
鳥生 水道総務課長 中川 水道工務課長
水道総務課職員 5名 水道工務課職員 2名

事務局

(事務局からの冒頭挨拶)

会長挨拶

事務局

今治市水道事業経営審議会規程の規定により、議事進行について会長へ依頼。

会長

会議録の署名について、玉田委員へ依頼し、了承を得る。

財政シミュレーションと経営戦略見直し案について
事務局に説明を求める。

事務局

(答申(案)について説明)

会長

事務局の説明について各委員の意見を求める。

A委員

「水道カルテ」では、旧市内は非常に健全である感じがします。
令和9年、10年の統合について再度の説明を求める。

事務局

水道事業は国に認可をもらって経営し、玉川と菊間は、令和9年と10年に統合する予定で事業認可申請をしています。浄水施設を廃止し管路を整備すること、経営の合理化をしています。合理化のために、国の補助をいただきながら進めており、一定のめどが立ったときに、統合していくという段取りで進めています。既存の浄水施設や配水地を廃止するために、耐震化した基幹管路を伸ばした段階で統合することで、グループⅡ-0に、もしくは一番上の段のグループに入れるようにしたいという思いで、それに沿った形で計画を実行しています。

A委員

全部がグループⅡ-0の今治に統合したら、入れられる側は水道の規模が小さいので、吸収されて上のグループに入るとのことですね。越智諸島は、厳しい状況にある中、統合して全体が底上げされてグループⅡ-0になると、国の補助はどうなるのかが気になりました。

事務局

現在、越智諸島事業所は国の補助要件を満たしている状態です。今治事業所に統合されることによって、要件が満たされなくなる可能性は想定されますので、そのあたりも見極めながら、統合を進めていく必要があると思っています。

B委員

グループⅡ-0の中に入るように統合を進めていくということでしょうか。

国の補助を使って越智諸島の耐震化率が改善されて、その後でグループⅡ-0に統合できれば一番良いのではないかと思います。

事務局

越智諸島事業所については、今治水道事業と統合するのは、令和 18 年度以降で、今治水道事業と水系を一緒にすることは難しいです。現在、今治の水を伯方島の一部まで送れるように進めています。越智諸島事業所全体に送るほど、今治側に水量的な余裕もないというのもあります。統合してもグループⅡ-0 が保たれるというのは、玉川と菊間のことです。料金回収率が 100% を切った場合にはグループⅠ-0 に行きますが、耐震化率については、これまで料金を上げながらも、合理化を図りながら耐震化をしてきて、一番良いグループ 0 にいますが、できるだけ保持していきたいということです。

会長

答申（案）について各委員の意見を求める。

C委員

料金改定は、水道ビジョンを達成するために色々な手立てをとるという構図。そうすると、耐震化や島しょ部と水の融通という部分を、もう少し分かりやすくすれば、理解が進むのではないかと思っています。かかる費用の数字を示して、大きい課題を抱えているということを書ければ良いのではないかと思います。また、浴場組合に配慮していただいて、ありがたい答申（案）だと思います。

副会長

令和 4 年度の料金回収率ですけど、朝倉、越智諸島の料金回収率が非常に低いという印象を持ちました。未回収分はどうなっているのか教えてもらいたいのが一点目です。

また、経営改善のための努力のところで、DX を入れていただいています。例えば水道管の中にセンサーを置くとか、ドローンを走らせるとか、AI で管理するとか、損耗率を把握するとかが実現すると、維持管理費の節減ができるのではないかと思います。その辺りの将来の見通しを教えてください。

WOTA 株式会社で、住宅用水を循環させる装置ができて、100 億円ぐらいの資金を集めたという話も出ていました。割り算すると、1 基あたり 200 万円ぐらいになります。島しょ部や山間部といった一部地域に、機器を上手に配置することで、配管の工事費や維持管理費用等も含めて、新たな考え方で、水道事業を考察できるのではないかと思います。既に何らかの取り組みをされているようでしたので、教えていただけたらと思います。

事務局

まず一点目の料金回収率というのは、事業所毎で見たときに、その事業所の費用を、料金でどれだけ賄えているかという率で、越智諸島事業所については、赤字の 1/2 を補助金で入れてもらい、料金回収率が 44% でありながら、今治市全体で見ると経営ができています。

会長

先程の説明は、一般財源から入れているということでしょうか。

事務局

料金回収率は、経費を、料金で賄えている率を示したものです。水道事業は今治、菊間、玉川、朝倉、越智諸島の全部を合わせて、黒字か赤字かを言っていますので、そのうち越智諸島の赤字の 1/2 については、一般会計から補助金を入れてもらっていて、その補助金や出資金等の収入もすべて含めて、実際の経営が黒字か赤字かをみます。

事務局

DXの活用については、AIによる漏水調査は、精度が向上しているという話も伺っているので一度試してみて、どの程度の精度かを調査したいと思っています。

ドローンの活用については、足場を組んで点検する場所も、ドローンを使ったらスムーズに点検できると思います。いずれにしても、色々な情報が入ってきていますので、使える技術は使っていきたいと思っています。

WOTA株式会社は、大三島で実証実験が終わっていますが、雨水を足しながら水を循環させて生活した感想や、水収支のようなものについて、ずっと検証していました。全国的に進んでいくと、コストも下がって、効率が悪いようなところについては、採用することが見えてくるかもしれませんので、その辺りの情報も追っていきながら、考えていきたいと思っています。

会長

ありがとうございます。ぜひ積極的にPRしていただきたいところです。

D委員

料金で費用を賄えるかを示した料金回収率に、こんなに差があるのかと思って見ておりました。今治市は、全体が同一水道料金なので、赤字のところを全体で補填するため、全体の料金を上げないといけないということが基本になっていると思います。赤字になっているところの使用者に、多く料金負担してもらわなければならないから、やむを得ないことだと思います。この答申（案）にも記載があるように、適正な原価で計算していることや、コスト削減にも努めていることを皆様に周知すれば、理解を得られると思います。

また、3年毎に9.7%の改定を5回行うと記載がありますが、最初の3年間は9.7%で、3年後に見直したら10%以上の改定になる可能性もあると思います。そうならないように、経営努力と言いますか、方向性を見つけていただけたらと思います。

事務局

3年後の改定率ですが、経営改善に努めて、できるだけ上げないように努めて参りたいと考えています。経営の収支については、水道料金が主な収入ですが、人口減少や経営活動の停滞で、使用水量が減る可能性があります。人口減少については、間違いなく起こることです。また、費用は、減価償却費は整備が終わっているものの費用で、これを圧縮することができません。この費用が、全費用の半分以上を占めています。料金の考え方を考えれば、9.7%改定をせずにできますが、資産維持率2%という料金算定の考え方ですと、改定率を下げられないと思っています。時間をかけて、この考え方を研究したいと思っています。

会長

毎回、改定率の数字が大きくなっています。必要なものだから、市民が負担をするのは仕方ないと思います。今の料金から8割引き上げないと賄えないという、ある研究機関のデータが載っていました。そうなると、水道をやめるか、水道施設をもっとコンパクトにするか、市民が費用を負担し続けることに理解して下さるか、いずれかの方法でないと、水道施設を維持することが難しいです。もっと一般会計が出しても良い時代になっていると思います。使用料だけでは、無理な時代が来ているような気がします。

C委員

市民に理解していただいて、一般会計から企業会計の方に、少しでもお金を回せる構図を作っておかないと。人口減になって料金収入も、どんどんマイナスになっていく。今までに借金を大量にしている。企業会計というのは、いずれは破綻する方向に行くというのは、自

然のなりわいだと思います。

E 委員

水道料金を上げてでも、色々なところを直していかなければいけないと思います。水道の企業局だけの問題でなく、市全体と考えて、一般会計から補助をいただくような形で運営していく方が良いのではないかと思います。

会長

答申（案）に沿って、市長に答申をすることでいいか委員に確認。

〈全委員了承〉

会長

事務局に答申式の説明を求める。

事務局

答申式の日程等について説明。

会長

（議事終了の挨拶）

事務局

委員に就任し、審議を行ったことに対し、感謝の意を表した。

午後 3 時 00 分 閉会